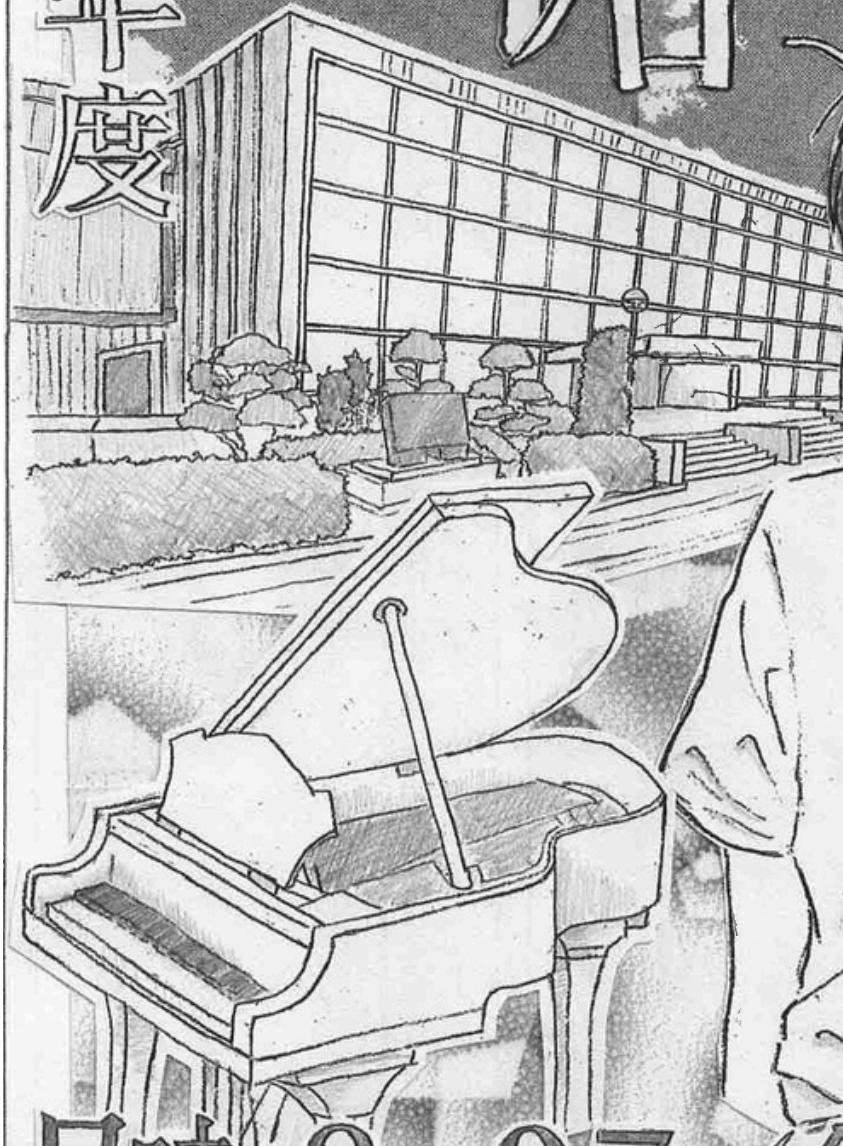


令和6年度

又創館川



日時 9月27日(金)

場所 野田ガスホール

年 組 名前

目次

※時間は変更になる場合があります

注意事項

※給食委員会より
ゴミは持ち帰るよう
ご協力をお願いします。

10:15～

開会式

文化部発表

10:25～

吹奏楽【ENJOY MUSIC】

郷土芸能【獅子起こし】

～11:35 総合的な学習

～休憩(10分)～

11:45～

弁論【共存】

～12:10 英語スピーチ【小さな努力から始めよう】

～昼食・休憩(40分)～

合唱コンクール開幕

12:55～

合唱コンクール開会式

13:00～

学年合唱（1年→2年→3年）

～13:20 全校合唱

【Cantare～歌よ大地に響け】

～休憩(10分)～

13:30～

2年生クラス発表

13:50～

尾崎小学校発表

14:00～

川間小学校発表

14:10～

1年生クラス発表

14:20～

3年生クラス発表

14:40～

全体合唱【ビリーブ】

～休憩(10分)～

15:00～

閉会式

【結果発表・アンコール演奏を含む】

合唱コンクール閉幕

15:50～

下校



吹奏楽部



3年生4人、2年生1人、1年生5人で” ENJOY MUSIC”をモットーに活動しています。コンクールを終えてからも日々練習してきました。本日演奏するのは吹奏楽の代表作品『宝島』と幅広い世代から人気を集めているMrs.GREEN APPLEの『ケセラセラ』、映画『ハイキュー』主題歌より『オレンジ』、みんな大好き『SNSバズリメドレー』、再びブレイクした『マツケンサンバ』の5曲をお送りします。



川間中全員で盛り上がりましょう！手拍子、合いの手大歓迎です！

郷土芸能部



郷土芸能部は各部活引退後に集まり、夏休みから練習を続けて、楽しいことや辛いとすることがありましたが部員と共に助け合ってきました。本日披露する「獅子起こし」は川間中で30年近く続いており、歴史がとても深いものです。

「獅子起こし」の物語は、お腹をすかせた獅子が餌を探しに村まで下りて来るところから始まります。



餌を食べてお腹がいっぱいになった獅子は寝てしまい、その獅子を村人がどうにか起こそうとするお話です。村人たちがどんな方法で獅子を起こそうとするのか、笛や太鼓のお囃子にも注目してご覧ください。

弁論

テーマは動物と人間の共存についてです。
あなたも、自分事として考えてみてください。



英語スピーチ

SDGsのフードロスについて、語ります。

次のページに英文と和訳を載せますので、目で追ってみてください。

※QRコードを読みこむと練習の様子などを見ることができます。

title: Start With a Small Effort

4.72 million tons. Do you know what these numbers represent? This is the amount of annual food loss in Japan. This amount is the equivalent of one bowl of rice thrown away per Japanese person every day! This is how much food that can still be eaten but wasted. Japan ranks 14th out of 196 countries in food loss.

Do you think this is a good ranking?

Various people are involved in the process of bringing food to our tables. Many creatures are sacrificed, processed to make them edible, and inspected to make sure they are safe. Finally, they are sold in edible form in supermarkets.

The efforts of many people are behind this. However, we eat them as a matter of course. Having food in Japan is common.

However there are many people in the world who want to eat, but don't have the chance to get meals three times a day. They cannot afford eating because of poverty.

In Japan, is it acceptable to dispose of food that can still be eaten?

Imagine the background of what we eat every day. If we do, our approach to food consumption may change.

When I had a school trip in Kyoto, I heard a story about 5 hearts from a monk of a temple we visited. One of them was about gratitude. Almost everyone says "itadakimasu" before meals, but we only say it without feelings of gratitude. I think we must express gratitude to the food / made and brought to us by the hardships of different people. I was inspired by the story of expressing gratitude.

So there are two things that I am working on to reduce food loss.

First is to eat school lunches and meals at home without any leftovers.

This may sound natural, but it is not.

In fact, the annual food loss from school lunches per student in elementary and junior high schools in Japan is about 17.2 kilograms.

Currently, there are 3,178,000 students in elementary and junior high schools in Japan. So I don't leave any food out, even if I don't like it.

Second is to check expiration and consumption dates.

When I go shopping with my parents, I try to choose foods that are close to their expiration date if I am going to eat them right away. It is obvious, but food that is past its expiration date is likely to be thrown away. To avoid throwing food away unnecessarily, I buy the amount of food I need and consume the food immediately.

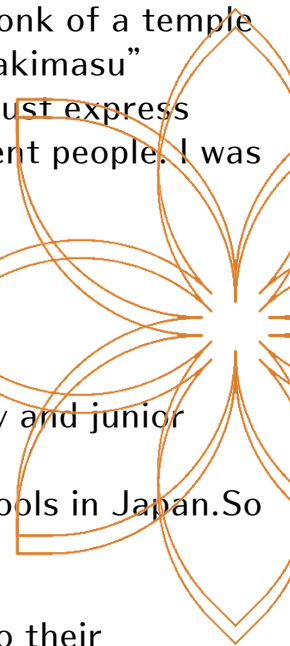
What I am doing to reduce food loss is nothing special at all. It is something that anyone can start doing today. There are many other things we can do. When eating out, think about whether you can eat the food before ordering; at home, prepare the amount of food you can eat; find out the best way to store food, and so on.

Why not start with a small effort?

Since half of food loss comes from businesses and the other half from household and schools. Our efforts will not be wasted.

4.72 million tons. Our small efforts will reduce this enormous amount of food loss.

I believe that if you and I work hard on small things, we can solve this problem someday.



472万トン。この数字が何を表しているか知っていますか？この量は、日本人1人当たり毎日お茶碗1杯分のご飯が捨てられている量にあたります！まだ食べられるのに無駄にされている食料がこれだけあります。日本の食品ロスは196カ国中14位。

これは良い順位だと思いますか？

私たちの食卓に食べ物が届くまでには、様々な人が関わっています。多くの生き物が犠牲になり、食べられるように加工され、安全かどうか検査される。そして最終的に、食べられる形でスーパーで売られる。

その背景には、多くの人々の努力があります。しかし、私たちは当たり前のように食べています。日本で食べ物が食べられるのは当たり前。

しかし、世界には食べたくても1日3回の食事にありつけない人がたくさんいます。貧困のために食事をする余裕がないのだ。

日本では、まだ食べられるものを廃棄していいのでしょうか。

私たちが毎日食べているものの背景を想像してみてください。そうすれば、私たちの食に対する考え方も変わるかもしれません。

京都で修学旅行をしたとき、訪れたお寺のお坊さんから5つの心話を聞きました。そのうちのひとつが「感謝」についてでした。食事の前にほとんどの人が「いただきます」と言います。いろいろな人の苦勞によって作られ、運ばれてくる食べ物に対して、感謝の気持ちを表さなければならない。感謝の気持ちを伝えるという話に感銘を受けた。

そこで、私が食品ロスを減らすために取り組んでいることが2つあります。

一つ目は、給食や家での食事を残さず食べることです。

当たり前のように聞こえるかもしれませんが、そうではありません。

実は、日本の小中学校の児童生徒1人当たりの給食からの食品ロスは年間約17.2kgです。

現在、日本の小中学校の児童・生徒数は317万8000人。だから、私は嫌いな食べ物でも残しません。

2つ目は、賞味期限と消費期限をチェックすることです。

親と買い物に行ったとき、すぐに食べるのであれば賞味期限が近いものを選ぶようにしている。当たり前のことですが、賞味期限を過ぎた食品は捨てられる可能性が高いのです。食品を無駄に捨てないために、必要な量を購入し、すぐに消費するようにしています。

食品ロスを減らすために私がやっていることは、特別なことではまったくありません。他にもできることはたくさんあります。外食するときは、注文する前に食べられるかどうか考えたり、家では食べられる量を用意したり、食品の保存方法を工夫したりする、などなど。

まずは小さな努力から始めてみてはいかがでしょうか。

食品ロスの半分は企業から、残りの半分は家庭や学校から発生しています。だから、私たちの努力は決して無駄にはなりません。

472万トン。私たちの小さな努力が、この膨大な食品ロスを減らします。

私は、私たち一人ひとりが小さな努力を積み重ねることで、この問題は必ず解決できると信じています。

総合的な学習の発表

1年

6月に校外学習でマザー牧場に行きました。各班でマザー牧場についてや、周辺の地域について調べてまとめました。その結果を発表します。

2年

6月に職場体験に行きました。地域の職業についてや、社会貢献、地域との関わりについて調べました。職場体験で実際に体験したことや感じたことについて発表します。

3年

6月に修学旅行で京都・奈良に行きました。京都と奈良の地域の特性と野田の地域の特性などを調べ、比較しました。よりよい野田の地域になるように考えたことを発表します。



合唱コンクール

学年合唱

	曲名
1年生	地球の鼓動
2年生	明日へ
3年生	足跡

クラス合唱

	曲名
2年2組	あなたに 会えて・・・
2年1組	時の旅人
2年3組	この日々を、 この時代を
1年1組	いつまでも
1年2組	Under the Same Sky
3年2組	越えてゆけ
3年3組	証
3年1組	Chessboard

小学生の発表

尾崎小学校

曲名

COSMOS

川間小学校

曲名

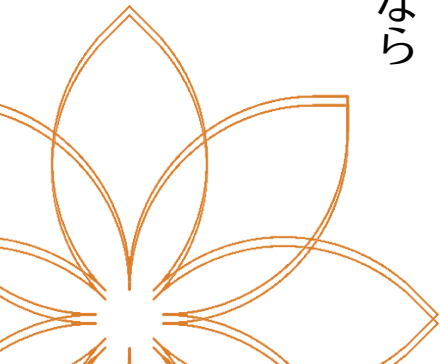
この地球のどこかで

全体合唱

ビリーブ

たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならず僕が そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
I believe in future 信じてる

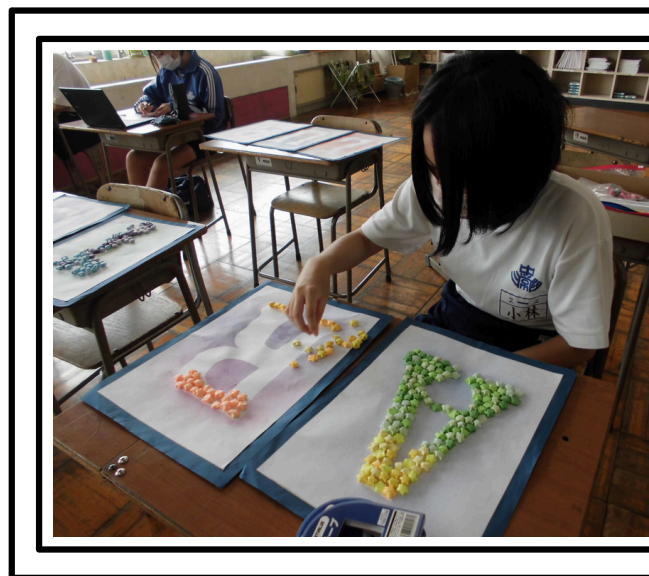
もしも誰かが 君のそばで
泣きだしそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球をつつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが
大空に 弾けてひかるだろう
I believe in future 信じてる
いま未来の扉を開けるとき
I believe in future 信じてる



芸術作品集



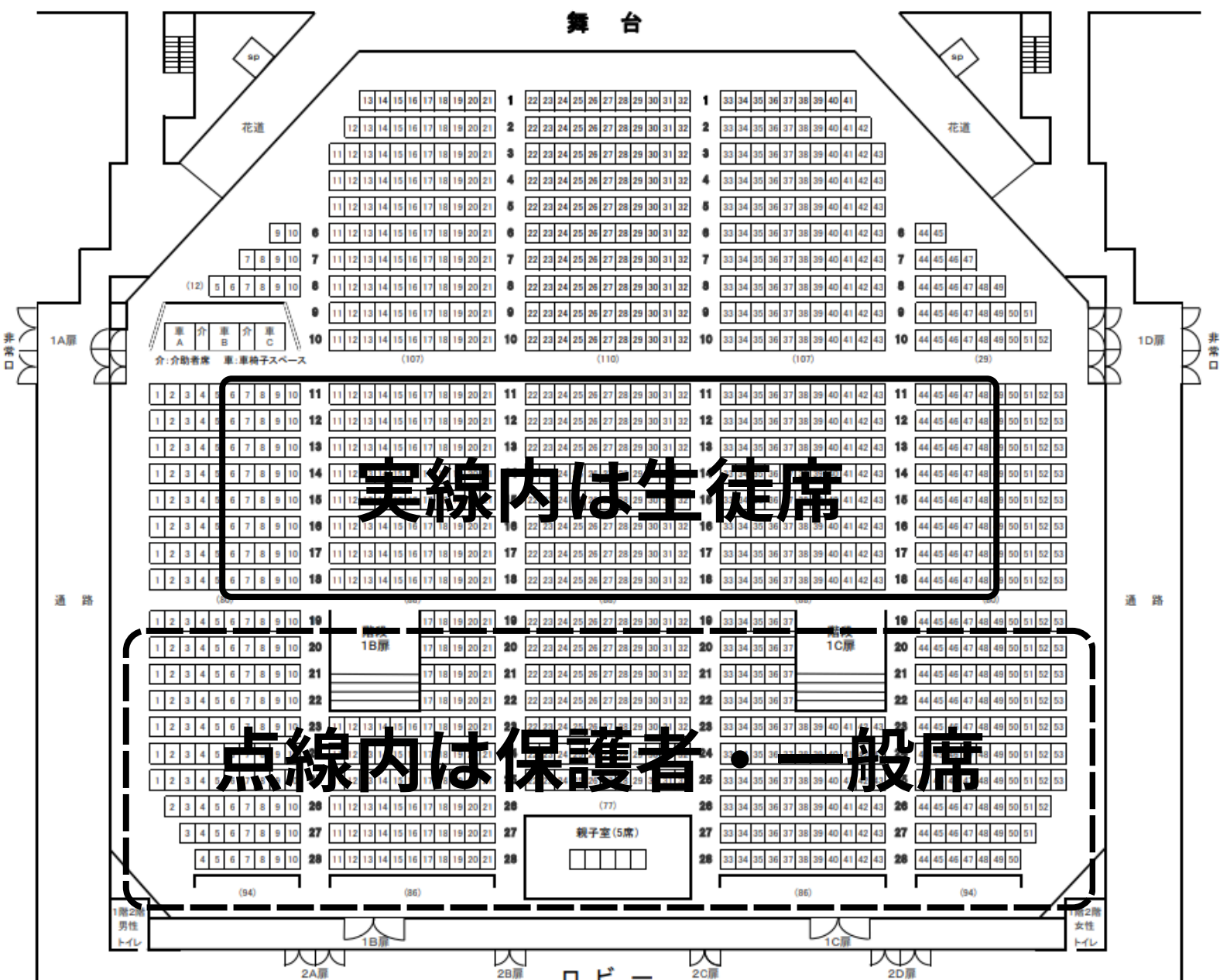
美術部の作品、美術や技術、また家庭科の授業で作成したものを校内に展示しております！！
全てをお見せすることは出来ないため、サイトにて掲載しております。右のQRコードからアクセスしてご覧ください。



川間中学校のホーム
ページへのアクセス
はこちらから



会場図 野田ガスホール



お願い

※保護者・一般の方は2階からホール内にお入りください。

※ホール内飲食禁止となっております。

昼食時は2階通路等をお願いいたします。



令和6年度. 9月27日(金)

合唱祭

in 野田ガザール